

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
教育相談実践研究Ⅰ		小嶋 英夫	演習	2	前期
必修・選択	修了要件	必修			
	資格要件				
学習目標	<p>本科目では、発達段階、発達課題、発達評価など、発達臨床の視点からみた子どもの理解と対応を強調した。そのため、前半では発達臨床の視点から捉えた子どもの発達と教育相談に関する基本的理論、後半では教育相談の実際的対応について学ぶことをねらいとした。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	発達の臨床からみた教育相談	「発達の臨床」と「教育相談」			
2	教育相談に生かす発達の理論	基本的な発達理論			
3	子どもの発達の特徴Ⅰ —保育所・幼稚園と小学校—	乳児期、幼児前期、幼児後期、児童期			
4		保育所、幼稚園と小学校の間の“壁”			
5	子どもの発達の特徴Ⅱ—中・高—	中学生—大人への入り口、高校生—模索する青年			
6	教育相談にみる子育て環境	モラトリアム進行世代の親、母子家庭と父子家庭			
7	相談におけるニーズの理解と子どもの行動評価	乳幼児の発達と相談、心理検査の活用など			
8	教育相談に生かすカウンセリングの技法	来談省中心—、精神的分析的—、分析心理学的—			
9	教育相談に生かすカウンセリングの技法	行動療法—、開発的—、電話的—、カウンセリング			
10	教師間のピアサポート（仲間支援）	教師のおかれている現状			
11	乳・幼児期に起こりやすい問題対応	食事、排泄、ことば、落ち着きがない、乱暴 など			
12	子どもの心の問題と対応Ⅰ	主に神経症的問題、(チック、不登校、PTSD、自殺 など)			
13	子どもの心の問題と対応Ⅱ	主に友社会的行為、暴力			
14	子どもの発達の問題と対応Ⅰ	「障害のある子」から「特別なニーズのある子」へ			
15	子どもの発達の問題と対応Ⅱ	LD、ADHD、高機能自閉症など、今後の課題			
参 考 書	平山諭・早坂方念編著「発達の臨床からみた心の教育相談」ミネルヴァ書房 2005年 深谷和子「スクールカウンセラー」児童心理臨時増刊 第62巻 金子書房 2008年				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	期間中に小論文を課す。				
評価の方法と時期	論述試験（期末）				